

宮島口地区まちづくりグランドデザイン 【概要版】

「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口
～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～



昭和 10 年代



平成 27 年 11 月



昭和 40 年代



昭和 50 年代



平成 28 年(2016 年)3 月
廿日市市

宮島口地区まちづくりグランドデザインの位置づけ

グランドデザインの目的と役割

- この宮島口地区まちづくりグランドデザイン（以下、「グランドデザイン」という。）は、宮島口地区のまちの将来像についての基本的な方針を示すものであり、今後、この「グランドデザイン」を、市民・民間事業者・行政等が共有した上で、各者が連携しながら、まちづくりの取組を推進していくこととします。
- グランドデザインは、中長期にわたる市の行政計画の一つとして、関連する計画等との整合を図りつつ、土地利用や整備の方向性等を示した指針とし、その実効性を高めるために、今後、その実現に向けた道筋や展開を示す、整備計画やガイドライン等を策定することとしています。

▼グランドデザインの役割

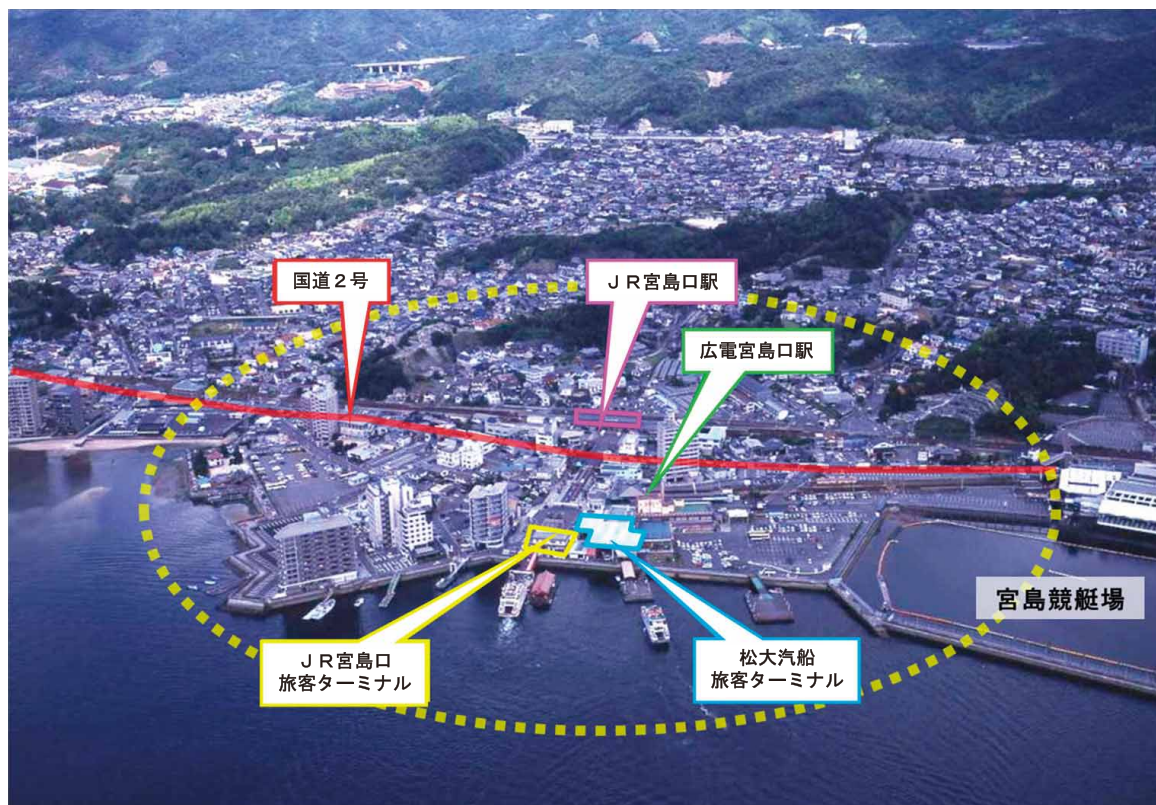
将来像を共有



対象とするエリア

- グランドデザインの対象としている範囲は、土地利用の現状や公共施設の配置、地形的要素を鑑み、東西は、宮島競艇場西側付近から更地分かれ交差点付近までとし、南北は、海岸からＪＲ北側地区までの範囲とします。

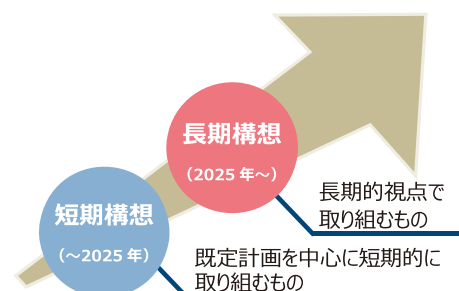
▼策定範囲



整備目標

- 現段階で、速やかに実施していくことが可能なものと、今後実施にあたって協議等に時間を要するなど長期にわたるものが混在することから、グランドデザインにおける整備目標は２段階に分けて整理します。
- 地区の喫緊の課題に対応した、地区内道路整備や旅客ターミナルを含む港湾整備など、既に計画されている公共施設整備を中心に、概ね１０年後までに実現していくものを「短期構想」とし、現在計画決定されていないものの、更なる利便性や快適性の向上に資する公共施設整備や、地区全体の景観形成など、長期的な視点が必要なものは「長期構想」とし、短期構想以降の概ね１０年後の実現に向けて進めていくものとします。

▼段階的整備目標



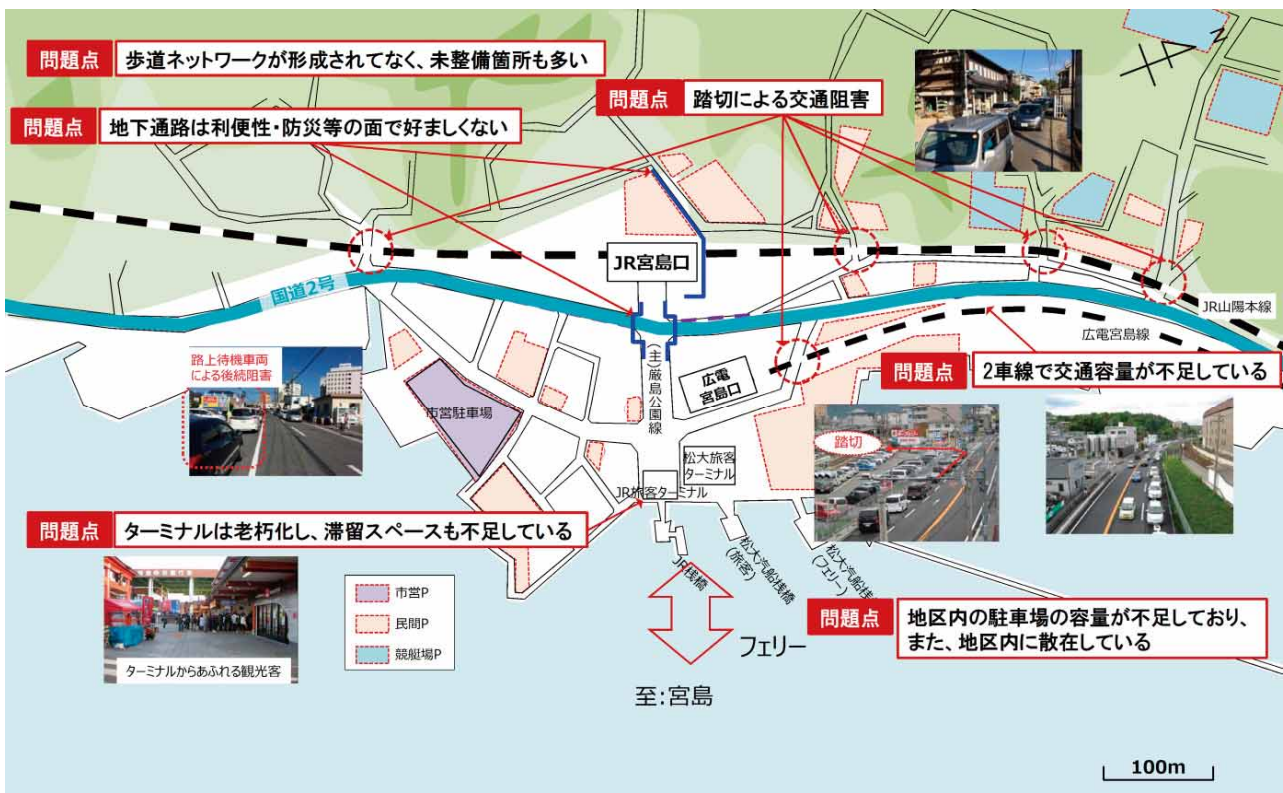
宮島口地区の特性

- 宮島口地区の特性を、「地形・地理」、「交通」、「土地利用・経済」の視点から整理します。
- このランドデザインでは、これらの宮島口地区の特性や問題点・課題を踏まえた上で、その解決につながる施策や方向性等を示します。

地形・地理的特性



交通特性



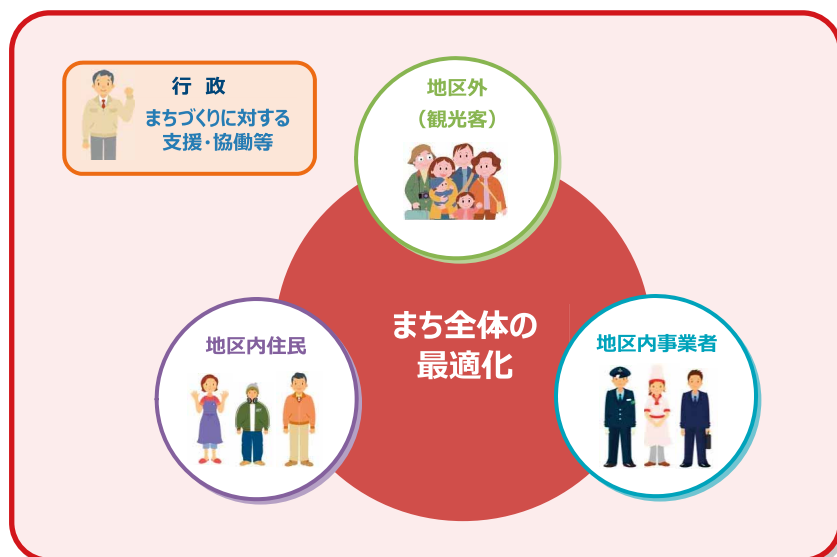
土地利用・経済的特性



まとめ

- 現在、宮島口地区は交通渋滞をはじめとする多くの問題点があり、特に多様な交通結節点があるメリットや、年間約400万人の宮島観光客等が当地区を往来しているにも関わらず、回遊性等の不足により、その特性を十分に活かしていない状況となっています。
- さらに、宮島口地区の課題は、「地区内住民」、「地区外（観光客）」、「地区内事業者・交通事業者」といった視点の違いにより異なります。
- ランドデザインでは、これらの地域構造特性を踏まえた上で、特性を活かしながら、「まち全体の最適化」を目指して各種施策や方向性等を示します。

▼多様な立場からみる地域課題に対する主な視点

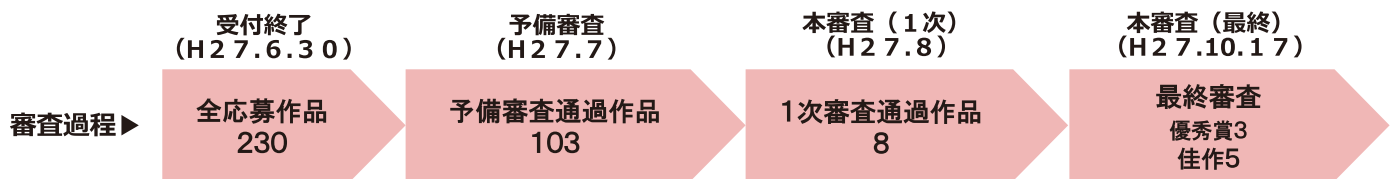


国際コンペの開催

- 宮島口地区は「世界遺産・宮島の玄関口」という特殊な地域性であること、また、近年の外国人観光客の増加等を踏まえ、まちづくりを進めるにあたっては、「宮島口地区まちづくり国際コンペ」（以下、「国際コンペ」という。）を開催し、国内外の方々から幅広くまちづくりのアイデアを募りました。
- この国際コンペで提案されたアイデアや、宮島口まちづくり国際コンペ委員会委員の意見、さらに同時期に行なったアンケート結果等は、ランドデザインや整備計画の策定等に有効に活用します。

審査概要

- 国際コンペは、平成27（2015）年2月6日から事前登録を行い、1,004件の登録があり、また同年5月11日からの作品受付では、国外の15件を含め、230件の応募がありました。
- 作品受付期間に提出された作品の中から、建築、都市工学、観光等の専門家で構成される宮島口まちづくり国際コンペ委員会において、次のとおり審査が進められました。



ランドデザイン

基本理念

- 廿日市市では、当地区を観光交流拠点として位置づけ、世界遺産・宮島という観光資源を通じた地域のつながり、そして世界へのつながり、さらには未来へのつながりなど、持続的な活力あるまちとなるためのキーワードとして、「つなぐ」を掲げています。
- また、当地区における様々な課題を克服し、世界遺産・宮島の玄関口として世界の人々を迎えるにふさわしい空間へ創りかえ、観光客等の歓迎空間の形成や歴史文化の発信機能などの強化を図り、市域全体の活性化につながる市のシンボリックなゾーンの一つとしたいと考えています。
- これまでの市関連計画や位置づけ等を踏まえると、国際コンペで掲げたメインテーマがこの地区の目指すべき方向性に最も適していると考えます。
- したがって、このランドデザインの基本理念を以下のとおりとします。

基本理念▶

「世界遺産・宮島（厳島神社）」の玄関口
～宮島口を魅力ある未来と世界へつなぐ～

まちづくりの方針

- まちづくりの理念（つなぐ）を具現化するため、国際コンペのアイデアや宮島口まちづくり国際コンペ委員会委員の意見、アンケート結果等を参考に、宮島口地区が様々なつながりの要である“交流拠点”として“新たな賑わい”を創出しつつ、観光客だけでなく“地域にとっても最適”となるよう、全体最適のまちづくりを目指すことを踏まえて、まちづくりの方針を以下のとおりとします。

まちづくりの方針▶

世界遺産・宮島との繋がりを意識した
観光交流拠点としての
地区の快適性と賑わいの両立

まちの軸及び交通結節点

- 宮島口地区の軸（道路などの基盤）及び交通結節点を以下のとおり設定し、これらを基に自動車や歩行者の動線を踏まえ、施設の配置や土地利用などのまちづくりの方向性を示します。
- この「まちの軸及び交通結節点」については、容量拡大や利便性向上など、各々の施設について強化していくとともに、軸と軸、軸と交通結節点など、互いの連絡性も強化します。

▼まちの軸及び交通結節点の考え方

軸となる道路等	広域連携軸	- 広域連携軸は、地区内を東西方向に横断する国道2号です。 - この広域連携軸は、周辺地域から地区内へアクセスする最も重要な広域交通ネットワークとして位置づけます。
	シンボル軸	- シンボル軸は地区を南北方向に縦断する県道厳島公園線です。 - このシンボル軸は、宮島観光の主たる動線軸であり、歩道と沿道商店街等が一体となり、賑わいと格のある空間を形成するとともに、世界遺産・宮島の玄関口にふさわしい街並みを形成する必要がある軸です。 - また、地区内の回遊性のあるまちづくりへと誘導する軸としても位置づけます。
	主要アクセス軸	- 主要アクセス軸は、市道赤崎3号線及び市道赤崎14号線です。 - 市道赤崎14号線は、JR駅北側地区の東西方向を連絡するJR駅北口へのアクセス道路であり、また、JR北側地区にある駐車場へのアクセス道路として位置づけます。 - 市道赤崎3号線は、JR南側地区の東西方向のアクセス道路として、地区内の回遊性のあるまちづくりへと誘導する軸として位置づけます。
	海辺の回遊軸	- 海辺の回遊軸は、護岸沿いに設置する歩行者専用の空間です。 - 海沿いの東西方向の回遊性を高めるとともに、地区内の回遊性のあるまちづくりへと誘導する軸として位置づけます。
交通結節点		交通結節点は、主には宮島観光を目的とした歩行者・車両が発着する場所であり、「JR宮島口駅」、「広電宮島口駅・広電駐車場」、「フェリーターミナル」、「市営駐車場」、「JR北側地区駐車場」を位置づけます。

▼まちの軸及び交通結節点の図

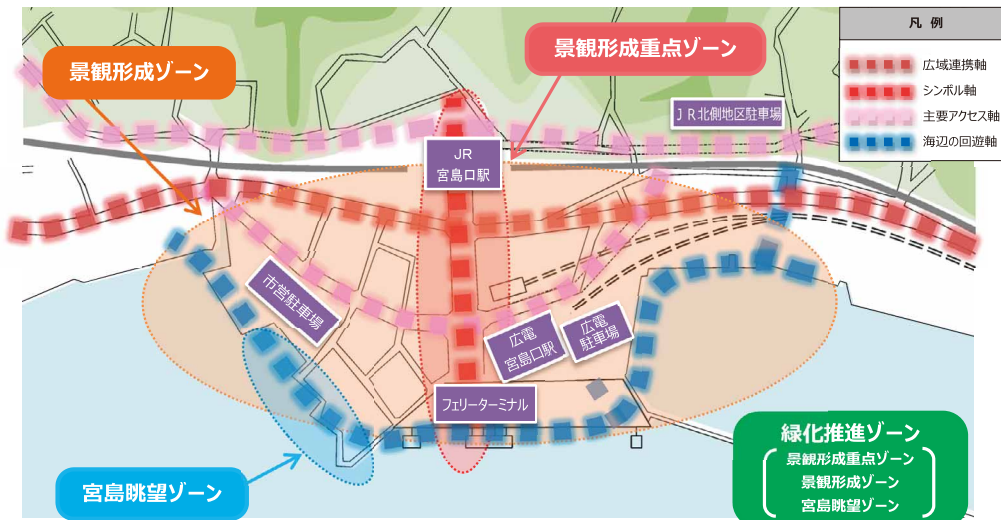


ゾーン区分

(1) 景観形成に係るゾーン区分

- 良好な景観は、地区のブランド力向上や魅力の向上につながり、観光客をはじめとする人々の交流の活性化が図られるとともに、生活環境の質の向上や地域の方々の愛着や誇りの醸成にもつながります。
- このような考えのもと、既述した「まちの軸及び交通結節点」等を踏まえ、J R 南側地区について、「景観形成ゾーン」として位置づけるとともに、宮島観光の主たる動線軸で、また、地区のシンボル軸である県道厳島公園線沿いの区域について、「景観形成重点ゾーン」として位置づけます。
- 海辺の回遊軸のフェリーターミナルから西側の区域について、「宮島眺望ゾーン」として位置付けます。
- また、上記各ゾーンは、「緑化推進ゾーン」としても位置づけます。
- 景観形成の方向性については、新たに整備する施設をうおいと落ち着きのある「和」のデザインに統一するなど、宮島との景観・風景のつながりを意識したものとし、さらに、各ゾーンにおける屋外広告物に関する規制・誘導についても進めていきます。

▼景観形成に係るゾーニング図



(2) 土地利用に係るゾーン区分

- 既述した「まちの軸及び交通結節点」や「土地利用特性」等を踏まえ、シンボル軸ゾーン及びフェリーターミナルゾーンについて、「賑わいゾーン」として位置づけます。
- また、市営駐車場及び広電駅舎跡地、さらには海辺の回遊軸については、現段階では賑わいの候補地として設定し、今後、地元の関係者の方々と協議・調整しながら、その方向性について設定します。
- その他地区の具体的なゾーニングや土地利用計画についても、今後、既述した「まちの軸及び交通結節点」や「土地利用特性」等を踏まえ、地元の関係者の方々と協議・調整しながら、設定していきます。

▼土地利用に係るゾーニング図



7

施策の柱Ⅱ 生活環境向上

【整備方針】観光振興と共存した地区内の快適性の向上

宮島口地区には多くの住民・事業者などが生活を営んでいることから、観光客の利便性向上は、もちろんのこと、居心地の良い生活環境の整備に取り組めます。

《目指すべき（期待される）まちづくりの効果》

- ④ 地区内住民の快適性（鉄道等利便性、賑わいの場、道路・歩道整備等）
- ⑤ 地区内住民の満足度の向上
- ⑥ 地区内住民の災害対策に係る満足度の向上
- ⑦ 公共下水道の普及・促進
- ⑧ など

など

地区内全域

- ①下水道・公園（公共空地）等の整備（短期）
1) 地区内全域を対象として下水道を整備

- ①下水道・公園（公共空地）等の整備（長期）
2) 今後、現集会所の公園のほか、地区内全域を対象として必要な公園（公共空地）を整備

- #### ④地域産業の活性化（短期・長期）

1) まちづくりを進める中で、公共空間等の整備において廿日市産木材を活用するなど、地区内はもとより地域の産業活性化を推進

- ### ⑥利便性向上施設の誘致等（長期）

1) 地区内全域を対象として、地域の方々の利便性向上にも資する施設を確保

- ## ⑤コミュニティの推進（短期・長期）

- 1) これからの地域内のまちづくりに必要な機能を確保

- ## ②防災対策の実施（短期）

- 2) J R 駅北側地区における浸水対策（雨水排水）を実施

凡 例	
	広域連携軸
	シボル軸
	主要アクセス軸
	海辺の回遊軸
	交通結節点



護岸の歩行空間イメージ

広島県 宇品波止場公園付近

海辺の緑地公園イメージ

大島県 宇品波止場公園付近

- ## ②防災対策の整備（海辺の回遊性向上含む）（短期）

- 1) 防災上課題のある老朽化した護岸を整備し、地区内の防災安全性を向上させるとともに、併せて海辺の回遊軸となる快適な歩行者空間を創出

- ①下水道・公園（公共空地）等の整備（短期）

- 2) 公園（公共空地）としてターミナル横緑地、海辺の回遊軸を整備

※施設整備に当たっては、バリアフリー法を遵守し、かつユニバーサルデザインにも配慮して整備する

施策の柱Ⅲ 良好な景観形成

【整備方針】世界遺産・宮島の玄関口にふさわしい、宮島とのつながりを意識した景観形成

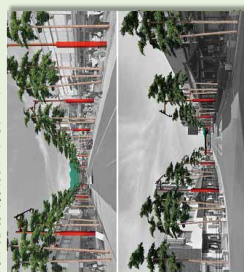
宮島口地区に到着した瞬間から、世界遺産を彷彿させるなど、宮島観光に対する高揚感を醸成できる景観づくりを行います。具体的には、宮島とのつながりを意識した、うるおいと落ち着きのある、「和」をイメージしたデザインで統一します。

《目指すべき（期待される）まちづくりの効果》

- 宮島来島者数（外国人来島者数）の増加
- 景観に係る満足度の向上
- 地区内の緑化率の向上

など

厳島公園緑沿いのイメージ



⑥屋外広告物の規制（短期・長期）

- 1) 「景観形成重点ゾーン」として、シンボル軸である県道厳島公園緑、フェリーターミナル付近において、屋外広告物の位置、形態、意匠や色彩等について規制・誘導し、建物等と合わせて良好な街並みを形成、「景観形成ゾーン」についても同様な考えに基づき取組を実施

①建物等の街並み形成（短期・長期）

- 1) 「景観形成重点ゾーン」にあるフェリーターミナル等新設建築物、シンボル軸である県道厳島公園緑沿いの民間施設の形態・意匠、ファサード（建物等の正面をなす外観）等を、うるおいと落ち着きのある「和」をイメージして統一
- 2) 「景観形成ゾーン」における建物等の形態・意匠、眺望・景観に配慮した高さと制限など建築規制等について、良好な景観形成に向けて誘導

景観形成ゾーン

景観形成重点ゾーン

JR宮島駅

JR北側地区駐車場

②県道厳島公園緑の高質・美装化（短期・長期）

- 1) シンボル軸である県道厳島公園緑の歩行者優先化に向け、歩・車道空間含めて歩道をイメージした高質・美装化を図り、シンボル軸としてふさわしい景観を形成

市営駐車場のイメージ



⑤緑化の推進（短期・長期）

- 1) 「まちの軸及び交通結節点」等を中心に先導的に緑化を進め、さらには民間駐車場をはじめとする民地等についても緑化を推進

駐車場の緑化イメージ



緑化推進ゾーン

- 景観形成重点ゾーン
- 景観形成ゾーン
- 宮島眺望ゾーン

④宮島への眺望確保（短期）

- 1) 海辺の回遊軸において、展望所等を整備し、宮島への眺望を確保

宮島への眺望確保イメージ



フェリーターミナルのイメージ



※施設整備に当たっては、バリアフリー法を遵守し、かつユニバーサルデザインにも配慮して整備する

施策の柱Ⅳ 賑わい創出

【整備方針】県道厳島公園線や交通結節点からの観光動線の回遊性・滞留性の向上

観光交流拠点として市域全体の活性化を目指しながら拠点機能を高めるためには、各事業者・市民などが連携した、新たな魅力づくりが必要であり、海辺の立地を有効に活かしつつ、地区内でのイベント開催や、他地域との広域的な観光連携など、様々な取り組みにより、地区内の回遊性等を向上させ、従来の通過型から滞在型へと転換させていきます。

《目指すべき（期待される）まちづくりの効果》

- 市内総観光客数の増加（外国人観光客数の増加）
- 宮島観光を含む観光客滞在時間の増加
- 市内観光消費額の増加
- 市内宿泊者数の増加
- 宮島の閑散期 5ヶ月間の観光客数の増加

など

シンボル軸ゾーン

②イベント実施（短期・長期）

- 1) 県道厳島公園線付近等において、地域等が主体となったイベントを実施

賑わいイメージ（お砂焼き祭り）



④賑わい施設の整備・誘致（短期・長期）

- 1) 地区の回遊性を高めるために、フェリーターミナルや厳島公園線沿いなどの賑わいゾーンや、市営駐車場などの賑わい候補地を中心として、飲食・物販施設・宿泊施設など、賑わい創出に資する施設を整備・誘致



飲食・物販施設のイメージ

海辺の回遊軸

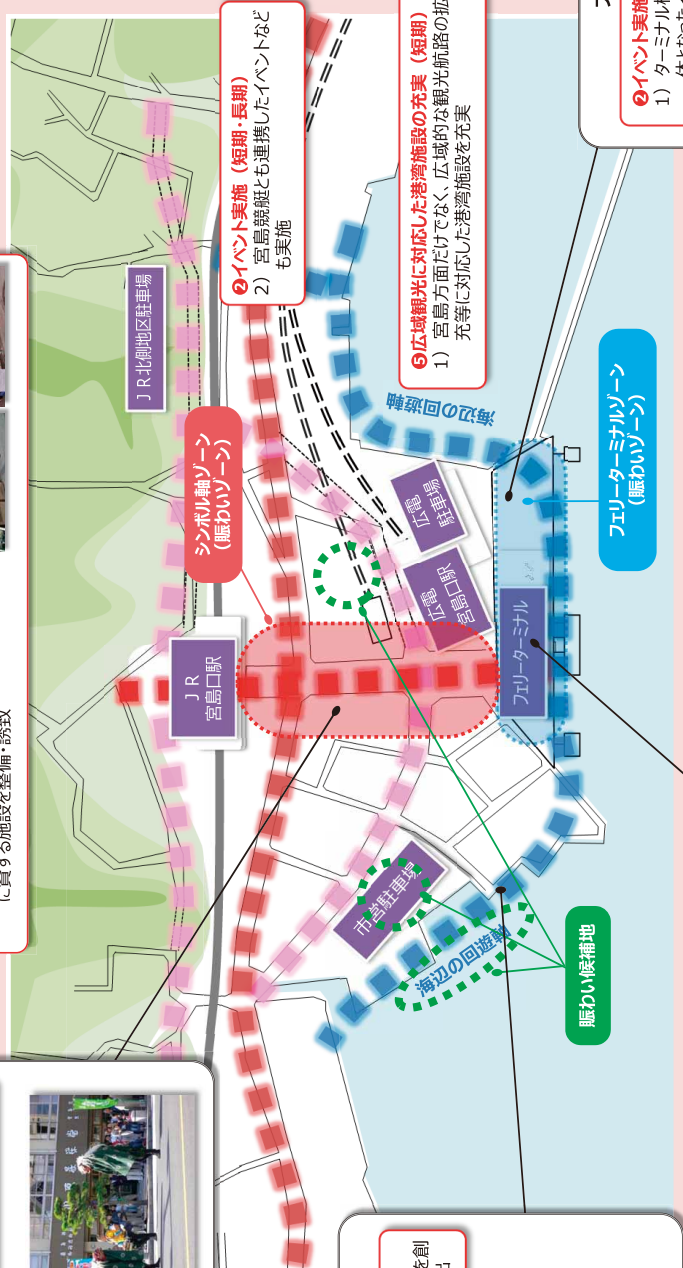
③海辺の回遊性向上（短期・長期）

- 1) 護岸を整備し、快適な歩行者空間を創出、その空間を活用して賑わいを創出

護岸を活用した賑わいイメージ



広島県 宇品波止場公園付近



②イベント実施（短期・長期）

- 2) 宮島競艇とも連携したイベントなども実施

⑥広域観光に対応した港湾施設の充実（短期）

- 1) 宮島方面だけでなく、広域的な観光航路の拡充等に対応した港湾施設を充実

イベント開催例



フェリーターミナルゾーン

②イベント実施（短期・長期）

- 1) ターミナル横緑地付近等において、地域等が主体となったイベントを実施

イベントの開催イメージ



フェリーターミナルゾーン

①観光・魅力発信施設の整備（短期）

- 1) フェリーターミナルを中心に、宮島への観光案内の充実・強化や宮島を含む当該地区の魅力向上を図るとともに、市域全体の活性化につながる観光交流拠点として機能させるため、市内各地への観光案内や情報発信、市特産品等の販売など、その機能も充実・強化
- 2) 近年の外国人観光客の増加を踏まえ、その受け入れ環境を整備

魅力発信施設のイメージ



宮島口資料館 ショップの展示

※施設整備に当たっては、バリアフリー法を遵守し、かつユニバーサルデザインにも配慮して整備する



宮島口地区まちづくりグランドデザイン 【概要版】

平成28年（2016年）3月

編集・発行：廿日市市建設部 宮島口みなとまちづくり推進課
〒738-8501 廿日市市下平良1-11-1
TEL 0829-30-9184